

M02 KAZUKI_ つながり

一稀のテーマとして監督から「浅草、都市、オリエンタル、家族の優しさ、ノスタルジック、予言」というキーワードの提示が有り、一稀と「家族と弟、ともだち」の繋がり作曲にしたいというお話が有りました。

メインテーマでもあるので最初に1話アバンのムービーに合わせて2タイプ作り、監督に選んでいただきました。その後にサイズを伸ばして汎用性を持たせました。

メロディーは一稀の心情を表せるように少し憂いを含んだ雰囲気、後に色々なアレンジバージョンを作れるようにシンプルなフレーズにしています。メロディーが展開したパートは実は「さらざんまいのうた」のメロディーをモチーフとして使っています。

全体の音色はピアノとストリングスにシンセサイザーの音を足し、オリエンタルなイメージで箏の音を入れました。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M03 予兆のカッパー

ミステリーのブリッジになるように、というのと少しとぼけた雰囲気で、
というオーダーでした。

「放課後カッパー」から繋げて使うこともあるかもしれないので、リズム
やキーを揃えつつコード進行も近い感じにしています。

あまりはっきりしたメロディーは入れずに謎な雰囲気？のまま終わってい
くようなイメージで作っています。

生楽器を入れず全部シンセサイザーで作りました。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M04 欲望の尻子玉搾取

カップパに変身させられるシーンで使うということは決まっていた「スピード感、シリアス、怖さ」というキーワードと三味線を入れてみたらどうか、というお話がありました。今回の BGM の作曲にあたり浅草をイメージしたテーマで（一稀のテーマに対する裏テーマみたいな）三味線とシンセを軸にした踊れる曲を作りたいと思っていました。「欲望の尻子玉搾取」が方向的にも合っていると思い、津軽三味線のリフをメインに据えた今の形に近いデモを監督に聴いていただき、その後1話でケッピが飛び上がり着地したところからムービーに合わせたイントロ部を足していきました。BGM の中では最も作曲に時間がかかっていると思います。

レコーディングに入る前に三味線の奏者を探していたところ、はなわちえさんがデニムで三味線を弾くCMを見つけ、演奏が素晴らしかったのでお願いしました。太鼓はミュージシャンのコーディネーターのかたにブッキングをお願いしたのですが、まさか仙波流家元の仙波清彦さんご本人が演奏してくださるとは知らず（お弟子さんが来るのかなと思っていました）スタジオでとても緊張しました。後半の掛け声も家元によるものです。劇中では短くしか使われていませんが後半の三味線も素晴らしいので是非フルサイズを聴いていただきたいです。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M05 カパゾンビ降臨

「ゾンビ誕生～降臨」と「太鼓＝カウソ」いうテーマで作り、2話の「カウソイヤァ」の後カパゾンビが空から降りて来るシーンで使われています。1話の「欲望の屍子玉搾取」でのカパゾンビ降臨のシーンに合わせてこの曲に切り替わるパターンも作りましたが、そちらは屍子玉搾取の曲のまま使われました。

この曲も太鼓は仙波清彦さん、三味線ははなわちえさんにお願いしました。全体を通して聴くと、太鼓、三味線と EDM 的なシンセを融合させた曲になっていて、途中の津軽三味線ならではのソロはとても素敵なので是非聴いていただきたいです。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M06 戦いの祭り

ケッピ人力車のシーンのために書いた曲です。

この曲は「欲望の尻子玉搾取」から繋げても使えることと、この曲の後に「さらざんまいのうた」を繋いでも使えるように、というオーダーがあり曲のキーを揃えました。戦いに赴くような力強さを出すために、太鼓とストリングスとトランペットをメインに使い和風なテイストも入れています。

人力車のシーンで流れたストリングスのメロディーは一稀のテーマを使い、6話の春河を助けるシーンではトランペットで「さらざんまいのうた」のメロディーを、曲のエンディングでは「さらざんまいのうた」のイントロのフレーズをアレンジして使いました。頭のトランペットのフレーズは時代劇と西部劇を合わせたようなフレーズをイメージして作っています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M07 さらざんまいのブリッジ

「さらざんまいのうた」のサビが終わった後に繋げてブリッジとして使うために作りました。

編集しやすい構成にしています。

この曲はベースとピアノを生楽器でいれています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M08 KAZUKI_漏洩

一稀の漏洩のシーンで使われる曲です。1話漏洩のムービーに合わせて作っていますが、曲をどのタイミングでスタートするかを監督と何度かやり取りをして進めました。テクノ的なサウンドで、シーンの切り替わるところに合わせて曲も展開して欲しいというオーダーがありました。前半はムービーに動きがあったのでスピード感を合わせつつ、漏洩が始まったところからはセリフが多くなるのでドラム系の楽器をはずして、静かに「KAZUKI_つながり」のメロディーが入ってきます。そして一稀の「いやだ、見るな」のセリフを受けてまたサウンドが変化していき最後に燕太のセリフの辺りで再び一稀のテーマが流れ、曲が終わります。

さらざんまい音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M09 ENTA_漏洩

燕太は「一稀への想い、ドラマチック」というのがテーマで、ストリングスと女声のスクアットを入れて欲しいというオーダーでした。燕太曲も共通のメロディーで、「憧憬→恋人→情熱と妄想のべゼ→漏洩」の順に作っていました。

漏洩曲はドラムやシンセの音は一稀の漏洩曲と同じ音色を使って統一感を出しつつ、クラシカルなソプラノボーカルとストリングスを入れてドラマチックな雰囲気盛り上げています。3話のムービーに合わせて作っていますが、それほど長いシーンではなかったので、他の話数でもつかえるように構成を伸ばしました。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M10 TOI_漏洩

悠の全体のテーマとして「怪しさ、スパイ映画、50年代」というキーワード、漏洩曲としては「シリアス、衝撃」というキーワードが提示されました。「アウトロー→イリーガルライフ→漏洩」の順で制作しています。

4話のムービーに合わせて作っていきましたが、途中「鴉」が出て来るところでタッチ（短いフレーズ）を入れて欲しいというオーダーがありました。タッチをどんな形にするかは何度か監督とやり取りをしています。タッチを生かすためにその前後は静かに、というオーダーもありました。イントロのエキセントリックなバイオリンは今野均さんによるもので、アドリブではなく譜面に書いたフレーズを弾いていただきました。悠の漏洩は全体的にスタイリッシュというイメージで作っています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M11 KAZUKI_絆

一稀のテーマメロディーで1話のエンディング前で流れました。ピアノで寂しさや切なさ、でもあまり暗くならないようにというオーダーでした。ピアノとストリングスに柔らかなシンセサイザーの音を足して一稀の想いを表しました。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M12 穏やかな日々

「一稀と春河のつながり、家族の朝食、大事な日常」というテーマで2話、朝のシーンに合わせて作りました。

この曲は春河のキャラクターを表すために他の曲と少しテクスチャーを変えたいと思いアコースティックギターをメインにしています。

柔らかな春の日差しのような曲になったかなと思います。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M13 REO & MABU_ 欲望か愛か

この曲は当初ティザー PV の BGM として作りました。その際には劇中で使うというお話は無かったと思います。和太鼓の強いアタックと無機質なシーケンスフレーズでアバンギャルドな雰囲気と緊張感を出して欲しいというオーダーで、予め監督がガイドになるナレーションを作ってくださいました。

太鼓をナレーションの隙間にタイミングを合わせて配置していったのと、シーケンスを 3 連符で作ったことで特徴が出たかなと思っています。BGM を作る際にこの曲をカワウソの侵攻の曲として使うことになりました。「禍々しく、異次元テクノロジー」というキーワードもあり、1 話 C パートのムービーに合わせて作り、その後に変化をつけて汎用性のある構成にしています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M14 雅なるお皿

「希望の皿」のテーマとして2話のアバンに合わせて作りました。「荘厳で雅、少しSF」というキーワードと「おサラ、まっさらなおサラ」という言葉をオペラ歌手に歌って欲しいというオーダーもありました。

この曲も太鼓は仙波清彦さん、三味線ははなわちえさんをお願いしました。仙波さんが、「こっちのほうが合うかな？」と言いながら太鼓を裏返して叩くとまるでシンセで作ったみたいな低い「ドォーン」という音になりとてもビックリしました。色々な奏法があることを教えていただいたことが印象に残っています。

さらざんまい音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M15 雅なるお皿～戦いの歴史

雅なるお皿の 6 話専用曲になります。「雅なイメージからのシリアスな戦い、壮大な空間の広がり」というキーワードがあり、まだムービーが出来ていなかったなのでコンテを頼りに作っていました。

デモを出して 2 週間後にムービーが来たのでデモを合わせてみると、指定されていたシーンにデモの長さがほぼ合っていたので「デモにムービーの尺を合わせてくれたのかな？」とっていました。

後日監督に伺うと、合わせてみたらピッタリだったので驚いたよ、とのことで私もビックリしました。少女式エリスの「放課後カッパー」のレコーディングの際に、ロジィくんとあだちくんにコーラスをお願いして参加していただきました。男声が入ることで緊迫感と力強さが出たと思います。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M16 イリーガルライフ

悠のテーマで「怪しいビジネス」というキーワードがあり、2話の悠とニャンタローのシーンに合わせて作っていききました。

監督から Jazzy なサウンドでというオーダーがあり、少し気怠く少しユーモラスな雰囲気になっています。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M17 TOI_アウトロ

悠のテーマメロディーで作ったのはこの曲が最初で、2 話のエンディング前のシーンに合わせました。「孤独、アウトロ、口笛」というキーワードがあり、Jazzy で静かに、中学生にしては大人びた悠の孤独を表しました。口笛は「輪るピングドラム」の冠葉のテーマで使ったのが最初で、使う度に思い出します。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M18 カッパ・サラ・ラ

「ムーディー、倦怠感、スキュット」というキーワードで使う場所は2話の遊園地のシーンと決まっていた。監督からは「カッパ、パッパ？」という言葉のオーダーもあって、「カッパ」と「サラ」で全体のスキュットを組み立てました。

今回のBGMでは歌を入れる指定の曲が多く「クラシック系」と「ポップス系」それぞれ違うボーカリストに歌っていただいたことで、変化を出せたと思います。燕太の曲（ENTA_漏洩、ENTA_情熱と妄想のべゼ）などは両方の歌を入れてどちらを使うか監督に選んでいただいたので、BD/DVD 特典サウンドトラック盤（音楽集未収録オリジナルサウンドトラック）で違いを聴いていただけるといいなと思っています。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M19 ENTA_憧憬

燕太のメロディーは一稀に対する想い「愛、恋」がテーマになっています。
この曲は「思い出、懐かしさ、メロウ」というキーワードで2話の燕太の
モノローグに合わせて作っていききました。

この曲が燕太テーマのなかでは一番ロマンチックな雰囲気、60年代ヨー
ロッパの映画音楽をイメージしてストリングスとスキャットを入れています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M20 ENTA_ 情熱と妄想のべゼ

燕太メロディーで「妄想、胸が高鳴る、ストリングス」というキーワードが有り、3話の「関係大ありだ！」を受けて始まるイントロは一稀が駆け寄ってくるシーンに合わせ、ドラマチックになるように作りました。

会話が始まったところでメロウな雰囲気のスキャット、そして落ちの前まで盛り上げていく、という構成です。

この曲はソロのトランペットやブラスセクションで派手に盛り上げ、全体のサウンドもバンド + ストリングス + ブラス + スキャットで 60 年代の映画音楽テイストになっています。

さらざんまい音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M21 ENTA_ 想い人

3話の燕太と春河のシーンに合わせて作って이었습니다。「寂しく静かに、そして微かに暖かく」というキーワードでした。

燕太のテーマではありますが、春河の心情も入れたかったのでエレキギターをメインに据えました。

メロディーもソフトに切なく優しく弾いていただきました。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M22 暴力の夜

この曲は誓のテーマとして 4 話の悠の回想シーンに合わせて作っています。長いシーンだったので劇中の使用曲とほぼ同じサイズです。

「悪人、大人、アンダーグラウンド」というキーワードだったので、ノイジーな音を中心に怪しげなギターとトランペットも入れてみました。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M23 衝撃のカッパー

5 話のサラ誘拐のシーンで使われた曲です。打ち合わせのときはどのシーンで使う等の指定はまだ有りませんでした。Jazz でサスペンス調、途中スキャットで（カッパ、パ、パッパ）という衝撃的で激しいタッチを入れるというオーダーでした。

サウンドはアメリカの刑事ドラマのようなイメージで、タッチのみでも使えるようにという指示も有ったので、イントロとエンディングに印象的なスキャットを入れました。他に中間部にもタッチとして使えるようなスキャットのフレーズを入れています。

イントロの「カッパッパッ、ハーアッ！」というタッチはいろんな場面で使っていただきました。打ち合わせのメモに「サラの変態」とも書いてあったのですが、このときは何のことか分かっていませんでした。

さらざんまい音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M24 喪失

5 話のエンディング前、カッパー稀の告白のときに流れた曲です。「メロディーは無く、途切れ途切れ、静かに終わる」というキーワードでピアノソロの曲を作りました。

喪失の曲は別バージョンもあって、このシーンの前の回想シーンの一稀と生みの母との会話の場面に流れました。その曲は一稀のテーマのアレンジ曲で、今回は収録できなかったので BD/DVD 特典サウンドトラック盤で聴けると思います。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M25 誘惑と混乱

7 話アバンの真武とカワウソのシーンで流れました。「ピアノ、前衛的、官能的、苦悩」というキーワードでした。

まだムービーが出来ておらず、どんな映像になるかわからなかったので、結構悩みつつ作りました（オンエアを見て、なるほどと理解しました）。

ピアニストの方に前半は書いた譜面に沿って演奏していただき、途中からアドリブでフリージャズのように弾いていただきました。

この曲はどんなイメージが映像に合うのか分からなくて3タイプ作りました。「カッパになってラッキー」を前衛的に弾いてもらったバージョンもあるので、BD/DVD 特典サウンドトラック盤で聴き比べていただきたいです。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M26 カワウソの侵攻

「迫る危険、怖く、淡々とピアノの音が迫る」というキーワードで 6 話の春河と玲央の会話のシーンに合わせてつくりました。

誘惑と混乱とは違ったテクスチャーを出したかったので生ピアノは使わず打ち込みのソフトシンセのピアノの音を使い無機質で硬質なフレーズにしています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M27 REO&MABU 運命

7話のCパートで流れた曲です。打ち合わせ時は「衝撃、死、ドラマチックに」というキーワードでした。

その後、使用予定箇所の映像の尺が短くなり使えなさそうなので、衝撃は無しでストリングスで切ない雰囲気にして欲しいと連絡が有りました。それでレクイエムのようなイメージかなと思いオペラのアリアが入ったデモを提出すると、7話のラストに合うかもというご返答をいただきました。この曲も、（オペラ入り、ストリングスとピアノのみ、ストリングスのみ）の3パターンを作ったのでBD/DVD 特典サウンドトラック盤で聴いていただけるといいなと思っています。

さらざんまい音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M28 KAZUKI_ 約束

一稀テーマのピアノソロアレンジになります。

自分でピアノアレンジのガイドデータを作り、ピアニストの花岡環さんにそのデータを元にピアノを弾き直してもらっています。

そして弾いていただいたピアノのデータをもらって、ソフトシンセで音を差し替えて納品しています。

テーマを3拍子にアレンジしています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M29 TOI_ 別離

悠のテーマピアノアレンジ。こちらはJazz アレンジです。

こちらも KAZUKI_ 約束と同じ方法で作っており、ソロパートは自由に弾いていただいています。

8 話で悠が一稀に電話をするシーンで流れました。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE



M30 ENTA_恋

燕太のテーマのピアノアレンジです。

バラードでドラマチックなピアノソロになりました。

後半はクラシックのピアノコンチェルトのようなイメージで弾いていただいています。

さらざんまい 音楽集
皿ウンドトラック
NOW ON SALE



M31 カッパになってラッキー

「ラッキー感、スキャット」というキーワードで「カッパになってラッキー」という言葉もあったので、そのまま、歌詞にしてみました。「カッパになって」のメロディーは言葉のイントネーションをそのまま音程にしてみました。「さらざんまいのうた」がラテンサウンドだったので、この曲もサルサミュージック風な楽しげな曲にしてみました。

6 話アバンのカッパ達のシーンに合わせて作り、その後サイズを伸ばしています。このシーン専用として作っていましたが、予告などで沢山使っていただけて嬉しかったです。BGM の歌唱はオペラ系を白石圭美さんに、ポップス系を五阿弥ルナさんにお願いしましたが、どちらも歌詞の大半が「サラ」「カッパ」でした。

さらざんまい 音楽集
皿サウンドトラック
NOW ON SALE

